

【中之条町】
校務 DX 計画

1. 校務 DX を推進する上での現状と課題

令和 6 年度「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果によれば、本町における校務 DX の現状は、群馬県全体の平均を下回る項目が多くなっている。

教職員と保護者間の連絡や学校内の連絡のデジタル化、FAX の原則廃止においては半分以上のデジタル化が進んでいる一方で、教職員と児童生徒間の連絡等のデジタル化においては取組が不足しており、改善の余地がある。

2. 校務 DX を推進するための課題解決策

群馬県では、令和 7 年度より県域共同調達で学校デジタル基盤（校務支援システムと汎用クラウドツール）の導入が検討されている。本町は、できるだけ早い時期に県域共同調達に参画できるよう検討を行う予定である。

県域のデジタル基盤に参画することで、校内、学校と保護者間、学校と児童生徒間のデジタル化の基盤が整備されるとともに、県域で活用事例や先進事例が共有され、本町でもそれらを取り入れることで教員の多忙化解消等に資するためのデジタル活用を積極的に進めたい。

また、教育情報セキュリティポリシーの運用や、要録の電子保管等の課題についても、県域の事例を参考として検討を進める。

3. 次世代校務 DX 環境の整備について

前項のとおり、学校デジタル基盤（校務支援システムと汎用クラウドツール）の県域共同調達に参画することで次世代校務 DX 環境の整備を推進したい。

また、校内ネットワーク環境・教職員用端末等の整備にあたっては、次世代校務 DX 環境の運用上望ましい環境となるよう進めていく。